

## 地域おこし協力隊活動報告書

|      |          |
|------|----------|
| 活動団体 | 穎娃おこそ会   |
| 役職   |          |
| 氏名   | 佐藤利江子    |
| 着任日  | 令和5年6月1日 |

|      |   |
|------|---|
| 活動月  | 令和5年7月（着任2ヶ月）                           |
| 主な活動 | <b>1.空き家の改修</b><br><b>2.地元工務店にて実務研修</b> |

### 1.空き家の改修

先月に続いて倉庫の改修を行いました。今回の作業はコンクリート打ち。出入口のほんの3～40センチ程度の幅のスペースでしたが、すべて手作業で行ったため多くの時間と労力を使いました。難しかったのは正解がよくわからないこと。水と砂利とセメントを混ぜてコンクリートを作りますが、どういう状態が正解なのかが分からない作業は手探り状態で思うように進みません。それでも何とかやり終えて一安心。後日見に行くときれいに仕上がっていました。そして2週間後に同じ場所でもっと広いスペースの土間打ちをしたのですが、今度は機械で練ったため本当に楽でした。機械に材料を投入して待つだけで出来上がります。手で行いたい気持ちはありますが、体力と時間の有限性を考えると機械を使うことは必須です。次回、機械練りで行った場所がどうなっているのかを見に行くのが楽しみです。



## 2.工務店にて実務研修

家に関連することで実際にどのような業務が存在するのかを把握するため、また、職人さんの技を見るために地元密着の工務店にて実務研修を行いました。いくつか現場を案内していただきましたが、お客様とも昔からの顔なじみで、地元から厚い信頼があることが分かりました。

現場での作業はうまくいかないことも多いですが、現場の方がアドバイスをくださるので安心して行えます。また、事務所での作業も補助金の申請や数量の拾い出し、模型の作成等、現場だけでは見えてこない業務に触れることができ、非常に貴重な機会をいただいていると感じます。

また、住宅のリフォームにおいては「お客様が何を望んでいるか」を大事にしており、性格やライフスタイル等を見て、お客様に寄り添った提案をしているとのこと、空き家の再生を行う際にとっても重要な要素だと感じました。

## 3.番所鼻公園にてキャンピングカーの改修、ベンチ等塗装作業

鹿児島県庁のコミュニティ大工クラブの方たちが穎娃まで来てくださり、番所公園にて作業を行いました。人数が多いと道具などが不足しないように、作業が止まらないようにと考えるのはなかなか大変だと感じました。加藤さんが段取りをしてくれているので何とか進めることができました。突然雨が降ったり、材料が足りなくなったり、現場では予測できないことが起きます。それでもどうにか進めるアイデアを持ち、楽しみながらできる力をスキルアップしていきたいです。

